

## 事業完了報告書（堺市）

### 調査研究期間等

調査研究期間	令和5年5月31日 ～ 令和6年3月8日
調査研究事項	<p>《委託研究：夜間中学における教育活動充実に係る調査研究》</p> <p>IV その他夜間中学における教育活動充実に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済負担を考慮した効果的な学校行事や校外活動等の在り方について</li> </ul>
調査研究のねらい	<p><b>経済負担を考慮した効果的な学校行事や校外活動等の在り方について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本市夜間学級では在籍者数は近年減少傾向であるが、義務教育未修了者に加えて入学希望既卒者、外国籍の者等、受け入れる生徒は多様化している。特に外国籍の生徒が約8割、高齢の生徒が約2割を占めており、それらの生徒の多くは、働く場所・時間が制限されている。本調査研究は、そのような生徒たちの学校行事へのさらなる参加率向上をねらいとする。校外学習や連合運動会を通して、自校および他校の多くの生徒の交流を行い、他者との共通する部分や違った部分を知り、「多文化共生」、「相互理解」を学ぶことによって、学校生活に充実感を得ることができる考える。また校外学習では体験活動に取り組むことで、日ごろの学習を深めたり日本の文化に慣れ親しんだりし、学齢期に十分学べなかった生徒や外国籍の生徒たちの学習意欲の向上につながると考える。</li> <li>・ 「生徒の学校行事への参加率の向上」のためには、以下のことが生徒の支援になると考えられる。</li> </ul> <p>&lt;外国籍の生徒に対して&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通費負担の軽減</li> <li>・ 土地勘がないため個人で学校外の場所に集合することが困難な生徒への支援</li> </ul> <p>&lt;高齢の生徒に対して&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通費負担の軽減</li> <li>・ 移動に関する体力的な負担軽減</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このようなことを踏まえ、参加率向上に向けた取組として、学校行事の際に貸切バスを利用し、移動に対する経済的な負担、体力的な負担の軽減を図るとともに、安心して参加できる環境を整える。</li> <li>・また、生徒会が中心となって、学校行事の企画運営を行い、共同作品の作成やレクレーション等の活動を効果的に行う。それにより、普段は関わりの少ない生徒どうしが接したり、楽しさを感じたりすることで、夜間学級での学習意欲の向上につなげることも目的とし、アンケートや感想文等により、現生徒への効果検証を行う。並びに、過去の参加率と比較し、生徒の参加率の変化などの効果検証を行う。</li> <li>・効果検証の結果から、学校行事が学習意欲や「多文化共生」、「相互理解」にどのような効果があるのかを分析し、オープンスクール時の説明会やHPなどで発信する。</li> </ul>
<p>調査研究の成果</p>	<p><b>【7月】事前学習</b></p> <p>社会科において、地図帳を使って京都府の地理的位置を確認し、特産物や名所についても学習した。校外学習に関する事前学習を行った。</p> <p><b>【9月】校外学習（京都方面）</b></p> <p>一泊校外学習の参加率について、平成30年度は11.8%、令和元年度は10.0%、令和4年度は23.5%、令和5年度は24.2%であり、参加率は前年比0.7%増加した。貸切バスを借用した令和4、5年度の参加率は、貸切バスを借用していない平成30年度、令和元年度の参加率と比べて、11.7～14.2%増加した。また、令和5年度は日帰りの校外学習であり、車いすを利用するや持病をもっている生徒が参加できた。（令和4、5年度貸切バスを委託事業で借用。なお、令和2年度、令和3年度についてはコロナ禍の影響により未実施。）</p> <p>違うクラスの生徒どうし活動する姿がみられ、交流を深めることができた。また、生八つ橋づくり体験を行い、京都の特産物にも触れられることができた。</p>

#### 【10月】事後学習

校外学習での体験を踏まえて、生徒がこれからの目標や学校生活等をどう過ごすかを書いた「えんぴつポスター」を作成し、11月に校内で行われた文化発表会にて展示することで、次年度以降の生徒の参加率向上を図った。

#### 【10月】 連合運動会（守口市民体育館）

近畿夜間中学校連絡協議会主催の連合運動会への参加率について、平成30年度は10.6%、令和元年度は11.5%、令和4年度は21.6%、令和5年度は24.2%であり、参加率は前年比2.8%増加した。貸切バスを借用した令和4、5年度の参加率は、貸切バスを借用していない平成30年度、令和元年度の参加率と比べて、10.1～13.6%増加した。（令和4、5年度貸切バスを借用、令和4年度は生徒会費、令和5年度は委託事業。なお、令和2年度、令和3年度についてはコロナ禍の影響により未実施。）また、連合運動会に向けて今まで行っていなかった練習を2回行った。

生徒へのアンケートで「いろいろな学校の人たちと競技できたのが楽しかった」「河内音頭を他の学校の人や他の国の人と一緒に踊れて楽しかった」等の意見があり、他校の生徒と競技や親交を深めたことにより、多種多様な人が夜間学級で学んでいることを実感していると考えられる。

#### ○現生徒への効果検証

校外学習の生徒の姿や連合運動会のアンケート等(上記参照)により、校内や校外の生徒との関わり、日頃授業だけではできない交流を深めることができ、多種多様な人が夜間学級で学んでいることを実感していると考えられる。これらの活動を通じて、学校生活に新たな目標ができ、学習意欲の向上につながると考える。

#### ○委託事業を活用していない行事との参加率の比較検証

平成30年度から令和5年度までの三大行事及び一泊校外学習の参加率を下表に示す。

(表) 三大大行事及び校外学習の参加率 (%)

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
新入生歓迎集会	16.2	11.9			13.2	24.0
連合運動会	10.6	11.5			21.6	24.2
連合作品展	8.9	10.0			12.7	12.1
一泊校外学習	11.8	10.0			23.5	24.2

- ・太字：委託事業による貸切バス借用
- ・斜字：生徒会費による貸切バス借用
- ・R2及びR3は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・R5は一泊でなく、日帰り

行事の参加率は貸切バスを利用すると高くなる傾向にあり、連合作品展以外は、貸切バスを借用した令和4、5年度の参加率は、貸切バスを借用していない平成30年度、令和元年度の参加率と比べて、約2倍になっている。連合作品展の参加率については季節が冬であることに関係していると思われる。参加率が約2倍になったのは交通費の負担や体力的な負担の影響が大きいと考えられる。貸切バスを利用することで、校内や校外の生徒どうしの交流する生徒数が多くなり、三大大行事及び校外学習の活動の中からいろいろな刺激をうけたり、気づいたりして学習意欲の向上につながると考えられる。